

広島大学埋蔵文化財

調 査 研 究 紀 要

第 6 号

2015

広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

序 文

広島大学東広島地区は国史跡鏡山城跡に隣接し、大学構内にも多くの中世遺跡が存在する。中でも鏡山城跡の麓に位置する鏡西谷遺跡、鏡東谷遺跡、鏡千人塚遺跡は鎌倉時代～室町時代の遺構・遺物が多数発見されており、本学における中世考古資料の中核的存在である。これらの遺跡については正式な報告書が刊行されており、本地域の中世考古学研究で広く利用されているところである。しかし、報告書作成にあたっては、作成期間や費用の面から報告書に十分盛り込むことができなかつた資料が相当数あり、検討できなかつた課題が多く残されていたことも事実である。また、近年の東広島市域をはじめとする広島県西部における中世遺跡の調査・研究の進展は目覚ましいものがある。こうしたことから、『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』の研究編では、本学における中世遺跡出土資料を新たな視点で再整理して資料化するとともに、安芸地方（広島県西部）における中世土器の研究を継続的に行ってきた。これまで、陶磁器、瓦器、中世須恵器について取り上げ、研究成果を公表してきた。第5号および本号では土師質土器坏・皿類を取り上げて、西条盆地、広島湾沿岸を中心に編年案を提示したが、この研究はこれまでの研究編における研究成果がベースとなっている。第6号に収録した研究2についても、2006年度以降実施してきた霞地区の立会・試掘調査に基づく研究成果である。

以上のように、研究編については本学出土の資料を利用し着実に成果を残している。一方、学内における開発に伴う埋蔵文化財調査や調整は埋蔵文化財調査部門の重要な業務の一つである。東広島地区については、統合移転に伴って発掘調査を実施し、多くの成果を得るとともに、大学当局の理解によって重要な遺跡が数多く残されている。東広島地区以外の広島大

学敷地における調査は2006年度以降本格化した。霞地区では旧広島陸軍兵器支廠（補給廠）関連遺構を中心に多くの遺構・遺物が確認され、重要な成果が上がっている。三原地区は近世武家屋敷の一角に位置すると想定されるが、今回の調査ではじめて近世に遡る可能性のある遺構、遺物が検出された。今後一層注意深く調査を実施し、様相の解明につとめたい。

ところで、旧埋蔵文化財調査室は2011年5月に総合博物館との統合により埋蔵文化財調査部門となった。直接の契機は、本学における学芸員養成教育の体制再編に伴う措置であった。これまでの埋蔵文化財業務に加え、総合博物館の展示情報・研究企画部門と連携しながら、博物館業務、学芸員資格取得関連授業を中心とする教育業務を実施することとなった。これまで以上に、教育、普及活動の比重が高くなったといえ、学内外の多くの方々や機関との連携をすすめたい。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。

2015（平成27）年3月27日

広島大学総合博物館

埋蔵文化財調査部門長

藤野次史

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、付編からなる。研究編は、広島大学キャンパス内の遺跡および出土遺物、広島大学への寄贈・寄託遺物の研究をはじめ、これに関連する幅広い遺跡・遺物の研究を目的としている。調査編は、各年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査、試掘調査、発掘調査の概要報告である。付編は、各年度に埋蔵文化財調査部門（室）ならびに調査部門（室）構成員が行った普及・研究活動の概要と調査部門設置要項などを収録した。
2. 研究編には3本の論考を収録した。研究1は安芸地方（広島県西部）における土師質土器坏・皿類の研究である。1979年度～1982年度に予備調査、発掘調査を実施した鏡地区出土の土師質土器坏・皿類を中心に東広島地区出土資料を集成して分析し（第5号）、あわせて安芸地方の様相を検討した（本号）。研究2は2006年度以降、立会・試掘調査を実施している広島大学霞地区で出土した広大病院食器の考察、研究3は1991年に広島大学埋蔵文化財調査室（当時）、広島大学文学部考古学研究室の協力を得て実施した東広島市丸山神社古墳群の測量調査成果報告である。
3. 調査編は、2011年度において、東広島地区（東広島市）、霞地区（広島市）、翠地区（広島市）、三原地区（三原市）の開発に伴って実施した協議事項と立会調査、試掘調査、発掘調査の概要である。
4. 付編は、2011年度の普及・研究活動の概要を収録した。また、2011年5月1日に埋蔵文化財調査室は総合博物館と合併した。これに伴い、埋蔵文化財調査室は、総合博物館埋蔵文化財調査部門となり、総合博物館の規則で規定されることとなった。また、埋蔵文化財の取り扱いについては、統合以前は財務・総務担当理事を座長とする施設マネジメント会議の中で審議されてきたが、埋蔵文化財調査室が博物館と統合したことから、あらたに総合博物館運営委員会のもとに埋蔵文化財調査専門委員会を設置し、広島大学における埋蔵文化財の取り扱いについて審議することとなった。このことから、新たな規定についても収録した。調査部門（室）構成員については、本書の作成に関わった2010～2014年度の構成員全てを載せている。
5. 2011年度の立会・試掘調査は、広島大学が所在する市教育委員会と協議・協力を行い、広島大学財務・総務室施設グループ（施設企画グループ、施設計画グループ、施設管理グループ）の協力を得て実施した。調査は、藤野次史、永田千織、山手貴生が行った。
6. 研究編、調査編に関わる整理作業は、2010年度は、藤野、八幡浩二、2011年度は、藤野、永田、山手、岩本美津子、2012・2013年度は、藤野、永田、山手、西口祐子、2014年度は、藤野、石丸恵利子、

大近美穂、西口が行った。

7. 研究編のうち、研究2に関わる遺物の実測は、石丸、大近が行い、表・図の作成および浄書は、石丸、大近、西口が行った。研究3に関わる遺物の実測は、藤野、八幡が行い、山手が浄書した。その他の図面の作成・浄書は藤野が行った。調査編に関わる図面は、藤野が作成、浄書した。付編に関わる図面は藤野、永田、山手が作成、浄書した。研究2の図版は石丸、大近が作成し、それ以外の図版およびその他の写真は藤野が作成した。
8. 調査編に利用した広島大学各地区の建物配置図等は広島大学財務・総務室施設企画グループから提供された図面をもとに作成した。
9. 本書の執筆は、研究編研究1は、永田、藤野が、研究2は石丸、大近、西口が行い、その他は藤野が行った。
10. 本書の編集は藤野、石丸、大近、西口が行った。
11. 本書を作成するにあたり、広島大学古瀬清秀、岡山県古代吉備文化財センター宇垣匡雅、東広島市教育委員会妹尾周三および吉野健志、吉井宣子、徳島大学埋蔵文化財調査室端野晋平および三阪一徳の各氏から有益なご意見を賜った。また、資料実見にあたり、(公財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室、(財)広島市未来都市創造財団(現(公財)広島市文化財団)文化科学部文化財課、東広島市教育委員会、(財)東広島市教育文化振興事業団文化財センター(現東広島市教育委員会出土文化財管理センター)、廿日市市教育委員会、三原市教育委員会、徳島大学埋蔵文化財調査室には便宜を図っていただいた。
12. 研究編で取り上げた広大病院食器は、広島大学総合博物館(埋蔵文化財調査部門)が保管している。また、丸山神社第1号古墳および丸山神社周辺で採集された遺物は、吉井宣子氏が保管している。

広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第6号

目 次

第1部 研究編

- 研究1：安芸地方における土師質土器坏・皿類の研究（下）
永田千織・藤野次史……1
- 研究2：広島大学霞キャンパス出土の「広大病院」食器
石丸恵利子・大近美穂・西口祐子……71
- 研究3：東広島市丸山神社古墳群の測量報告
藤野次史……97

第2部 調査編

- 開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2011年度）…………… 135

付 編

1. 普及・研究活動（2011年度）……………165
2. 埋蔵文化財調査室の組織……………191
3. 総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織……………193

挿図目次

- 第 1 図 安芸地方における土師質土器出土主要遺跡分布図
- 第 2 図 石佛遺跡、道照遺跡（東広島市調査地区）出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 3 図 道照遺跡（広島県調査地区）出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 4 図 浄福寺 3 号遺跡、溝口 4 号遺跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 5 図 狐が城跡出土の土師質土器坏・皿類
- 第 6 図 時宗遺跡、上条遺跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 7 図 中屋遺跡 B 地点出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 8 図 城仏土居屋敷遺跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 9 図 山崎 1 号遺跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 10 図 薬師城跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 11 図 菩提院遺跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 12 図 恵下城跡・三ツ城跡・横山城跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 13 図 国重城跡出土の土師質土器坏・皿類とその他の出土遺物
- 第 14 図 有井城跡・幾志山城跡・北谷山城跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 15 図 三太刀遺跡出土の土師質土器坏・皿類
- 第 16 図 俵崎城跡出土の土師質土器坏・皿類と共伴遺物
- 第 17 図 吉川元春館跡出土の土師質土器坏・皿類
- 第 18 図 西条盆地における土師質土器坏・皿類の組成変遷図
- 第 19 図 広島湾岸における土師質土器坏・皿類の組成変遷図
- 第 20 図 広島大学霞キャンパス現配置と調査地点の位置
- 第 21 図 広島大学移転当初の霞キャンパス利用状況と調査地点の位置
- 第 22 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（1）
- 第 23 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（2）
- 第 24 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（3）
- 第 25 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（4）
- 第 26 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（5）
- 第 27 図 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器実測図（6）
- 第 28 図 西条盆地における前期・中期古墳分布図（本稿関連古墳のみ）
- 第 29 図 丸山神社古墳群周辺の地形

- 第 30 図 丸山神社古墳群測量図
- 第 31 図 丸山神社第 1 号古墳の築造企画
- 第 32 図 丸山神社第 1 号古墳採集壺形埴輪実測図 (1)
- 第 33 図 丸山神社第 1 号古墳採集壺形埴輪実測図 (2)
- 第 34 図 丸山神社周辺採集土器実測図 (1)
- 第 35 図 丸山神社周辺採集土器実測図 (2)
- 第 36 図 丸山神社周辺採集土器実測図 (3)
- 第 37 図 広島大学の校地所在地図 (職員宿舎を除く)
- 第 38 図 2011 年度東広島地区の立会・発掘調査位置図 (縮尺 1 : 20,000)
- 第 39 図 鴻の巣遺跡調査区配置図
- 第 40 図 鴻の巣遺跡出土旧石器時代、縄文時代石器実測図
- 第 41 図 鴻の巣遺跡検出遺構配置図
- 第 42 図 鴻の巣遺跡出土弥生土器実測図
- 第 43 図 山中池南遺跡第 2 地点保存整備工事平面図 (1 : 1,500)
- 第 44 図 2011 年度霞地区の立会・試掘調査位置図 (1 : 4,500)
- 第 45 図 喫煙室基礎掘り方掘削平面図 (1 : 500)
- 第 46 図 歯学部駐輪場取設工事掘削範囲および検出遺構位置図 (1 : 250)
- 第 47 図 2011 年度翠地区の立会・試掘調査位置図 (1 : 3,000)
- 第 48 図 中高校舎 3 号館改修工事立会調査対象工事および検出遺構位置図 (1 : 1,000)
- 第 49 図 2011 年度三原地区の立会・試掘調査位置図 (1 : 3,000)
- 第 50 図 駐車場取設工事に伴う掘削位置図 (1 : 500)
- 第 51 図 法面整備工事位置図 (1 : 1,500)
- 第 52 図 山中池南遺跡第 2 地点保存区整備平面図
- 第 53 図 2011 年度受託研究に伴う調査位置図 (1 : 20,000)
- 第 54 図 2011 年度受託研究調査区配置図 (1 : 1,600)
- 第 55 図 32・33 区遺構配置図 (1 : 250)

表目次

第 1 表 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器観察一覧

第 2 表 丸山神社周辺採集土器観察表

図版目次

- 図版1 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器(1)
- 図版2 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器(2)
- 図版3 広島大学霞キャンパス出土「広大病院」食器(3)
- 図版4 丸山神社古墳群と周囲の景観
- 図版5 丸山神社第1号古墳採集の壺形埴輪

写真目次

- 写真1 調査区中央部・南部近景(南より)
- 写真2 縄文時代炉跡SH10(南より)
- 写真3 旧石器時代出土石器
- 写真4 須恵器焼成窯跡復元灰原保護柵支柱掘り方掘削状況
- 写真5 須恵器焼成窯跡復元灰原硬化剤固結のための散水状況
- 写真6 復元2号住居跡階段設置状況
- 写真7 掘削状況(西より)
- 写真8 基礎掘り方完掘状況(北より)
- 写真9 基礎掘り方6区の石組柵検出状況(北より)
- 写真10 基礎掘り方20区の石組排水路検出状況(東より)
- 写真11 基礎掘り方28区の石組排水路検出状況(南より)
- 写真12 基礎掘り方32区の石組排水路検出状況(西より)
- 写真13 基礎掘り方33区の石組排水路検出状況(東より)
- 写真14 基礎掘り方33区の石組排水路検出状況(北西より)
- 写真15 排水柵掘り方の石組排水路と兵器支廠造成土検出状況(南より)
- 写真16 排水管掘り方のコンクリート構築物検出状況(北より)
- 写真17 バスケットゴール基礎完掘状況(南より。破線より上はグラウンド造成に伴う盛土。)
- 写真18 1区完掘状況(北西より)
- 写真19 2区完掘状況(南西より)

- 写真 20 3区完掘状況（北より）
- 写真 21 基礎掘り方4区東部の土層堆積状況（南より）
- 写真 22 4区東部建物基礎検出状況（南西より。破線は建物基礎の外側のライン。）
- 写真 23 4区東部A地点検出建物基礎遺構（西より）
- 写真 24 4区東部B地点検出建物基礎遺構（南より）
- 写真 25 4区東部C地点検出建物基礎遺構（南より）
- 写真 26 伐根14区完掘状況（南西より）
- 写真 27 伐根17区完掘状況と試掘区（東より）
- 写真 28 伐根17区試掘区と西壁堆積状況（東より）
- 写真 29 伐根17区試掘区出土遺物
- 写真 30 排水管掘り方完掘状況（東より）
- 写真 31 排水管掘り方西半部完掘状況（北東より）
- 写真 32 小学校西側法面の工事前の状況（南より）
- 写真 33 法面南部～中央部掘削完了状況（南東より）
- 写真 34 北部の法面の現状（南東より）
- 写真 35 北部の法面の試掘と溝状遺構検出状況（北より。破線より上が溝または堀。）
- 写真 36 北部の法面試掘区出土遺物
- 写真 37 受付風景
- 写真 38 体験その1 広島大学内の遺跡見学（平木池遺跡付近）
- 写真 39 体験その1 広島大学内の遺跡見学（山中池南遺跡第2地点）
- 写真 40 土器の接合体験ほか（休憩時間）
- 写真 41 体験その2（土器の作り方説明）
- 写真 42 体験その2（土器作り）
- 写真 43 体験その3（火起こし体験）
- 写真 44 体験その4（勾玉作り体験）
- 写真 45 シンポジウム基調報告発表風景
- 写真 46 シンポジウム討論会風景
- 写真 47 展示会場の様子（1）
- 写真 48 展示会場の様子（2）
- 写真 49 シンポジウムおよび展示会冊子
- 写真 50 文化財講演会の様子

- 写真 51 灰原復元場所の除草
- 写真 52 灰原復元場所保護柵の設置
- 写真 53 灰原復元場所への盛土
- 写真 54 灰原の廃棄単位の割付
- 写真 55 灰原の廃棄単位の硬化剤（ガンコマサ）による復元
- 写真 56 灰原の廃棄単位の成形
- 写真 57 須恵器破片（模造品）の配置
- 写真 58 木炭粉および木炭片の散布
- 写真 59 硬化剤固化のための散水
- 写真 60 復元鍛冶炉設置のための掘り方掘削
- 写真 61 復元鍛冶炉設置のための型枠設置
- 写真 62 復元鍛冶炉の設置
- 写真 63 復元鍛冶炉保護用アクリルガラスの取り付け
- 写真 64 柱穴表示のための整備
- 写真 65 2号住居跡推定床部分の成形
- 写真 66 復元作業完了状況
- 写真 67 完成式典の様子（広島大学総合博物館館長あいさつ）
- 写真 68 完成式典の様子（復元遺構の説明）
- 写真 69 32・33区交差点付近S X 21 見張り台状遺構調査状況（南東より）
- 写真 70 32区北部S X 21 見張り台状遺構柱穴調査状況（東より）
- 写真 71 34区中央部S X 22 平坦面状況（北より）
- 写真 72 35区S X 23・25 検出状況（東より）
- 写真 73 35・39区S X 23 方形掘り込み遺構東半部調査状況（北西より）
- 写真 74 35・41区S X 25 方形掘り込み遺構西半部調査状況（北東より）
- 写真 75 40区S X 27・28 平坦面完掘状況（南より）
- 写真 76 40区S X 28 平坦面と柱穴検出状況（南西より）
- 写真 77 40区S X 28 平坦面土師質土器出土状況（北東より）
- 写真 78 45区S X 30 平坦面完掘状況（南東より）
- 写真 79 42区S D 04 竪掘完掘状況と土層断面（東より）
- 写真 80 50区完掘状況（南西より）